

巨今 ○趾樓府都ち即・所しれか置の廳府宰太へ昔
 を昔しぎ過・れさ残に間の草雜と々点が石礎な大
 【宮滿天府宰太・州九】
 くるるてつ語物



■ 1918~1932年発行 ねんはっこう えはがき 絵葉書 (個人蔵) だざいふあと くにしせき してい のち ほご せいでんあと かこ せきちゆう 大宰府跡は国史跡に指定された後、保護のために正殿跡を囲むように石柱
けんせつ ひだりて み たてもの しせき ほご かつどう と く につかんしょうにん た とふるうそうあん
 が建設されました。また、左手に見える建物は、史跡保護活動に取り組んだ日菅上人が建てた都府楼草庵です。